



発行所 埼玉県南埼玉郡 越谷町役場企画室 電話越谷42,517,519,522番

町の執務時間変更

町役場の執務時間が次のように変更されました。一、昼休みを十五分短縮し十二時三十分から執務いたします。二、終業は十五分早めの四時四十五分になりました。三、この執務時間は十二月十五日から一月末日まで行います。



進む「東中学校建設」

普通教室二階建 上棟式おわる

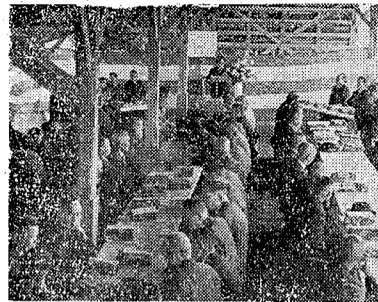
東中学校建設の突貫工事は目下順調に進められ、去月廿三日には管理室百五坪の上棟を見、引き続き今日八日には普通教室二階建の上棟がめでたく完了しました。その上棟式は八日の午後二時現場において町長はじめ教育委員、建築関係者など参集して神式による挙行されました。今度上棟した普通教室は、二階建の六教室二一坪の校舎で、ここに三六坪の東中学校第一期建設工事は全部上棟の運びとなつたわけであり、いよいよ歴史的事業の竣工、一月めが近づいて建設工事がつづけられております。

新生活運動

越谷町婦人会が申し合せ、今年こそは全町新正月(二月)にいたします。一、簡素な楽しい希望にみちたお正月を迎えましょう。二、以上のことを申し合せ、町教育委員会・公民館・婦人会連名で強力に商工会や各地区行政連絡員に協力方呼びかけることになりました。十二月十一日午前十時各地区婦人会長会議の結果、

冷害の北海道へ 定使野部落で救援米

この起りは去月二十四日、卅一年産米の予約のことで、常会を催し、北海道見舞のことに及び、過去昭和廿二年九月にアイオン台風によつて一夜にして洪水の郷土と化した時、早く見舞に接したことを回顧し、又年々北海道産馬鈴薯種子男爵の恩恵なども考え、本年産米の不作をかえりみず、



盛典だつた 北越谷駅開通祝賀

既報北越谷駅開通祝賀式は、去る一日午前十時から、北越谷駅構内において多数名士参列の上挙行されました。黒田元大沢町長の開式のことばには、浅野町祝賀式準備委員長の経過報告あつて、当祝賀会長大塚町長が「当駅の二回にわたる駅名改称は、地方行政制度の変遷に深く関連することを想起すると前提し、二つのエポック(新時代)のべ、ここに北越谷駅と改称されたことは歴史的にも由つてくることばがあり、大沢、越谷両地区住民は、立派な夫婦として不離一体の結婚生活に入つたと信ずる、また交通の発達に経済、文化など各方面の進歩を促し町村合併の合理的裏付けがつけられ、新しい越谷町の団結と和合の象徴は、本日のこの盛典によつて表現せられてゐる」と結んで式辞を終り、来賓多数の祝辞もこの開通を心からよるごとのべ、最後に藤田元大沢町議長の閉会のことばをもつてとどこうりなく午前十一時三十分式を閉じました。この日の北越谷駅折返し開通を祝うアーチは駅前飾られ、両側には提燈を下げ、駅構内には舞台を作つて演芸を催すなど大沢地区住民あげての盛事でありました。

あちらこちら

耕地整理の起工式行わる 本年二月発足をみた出羽土地改良区では、その後耕地整理の準備を進めておりました。このほど一切の測量が終り、去る四日神式によりめでたく



町立井中・共用の井戸工事 町立井中・共用の井戸工事は、このほど井戸由の請負で進められることになりました。この井戸は四十間まで掘り工費九万五千円をもつて行われるものです。 いち早く七五三集団祝 昨年から各地区で実施されました七五三集団祝が、この様に井地区でいち早く行われました。去る九月午後一時から校舎小学校において、公民館主催により、当地七才の子供八五名全員と付添いの親達が集り、合同でお祝の式を行いました。式が終つて小学一年

地区六〇町舎の耕地整理は四カ年計画で、総事業費六、七二万二千円を要して、五日いよいよ開始されました。本年度は第一区九六町歩を一〇六万円で、明年三月十日完了を目標に進めることになっております。(出羽支所) (写真は神明下仲田耕地における起工式)



生による学芸会の披露があり一同記念品と千圓給を手に手に記念撮影して、とどこうりなく午後四時理想的な七五三集団祝を終りました。(桜井支所) 純益三千円を原水協へ 越谷町学生会では、去る十月二十七日越谷中学校で原水爆禁止、原水爆被災者救済のための映画と講演の会を催し

あふるる尊い品々を取まとめ早子、岡崎広子、鈴木モト子各々手続を取りました。 増林中学校長より △白米二斗五升九合(衣類)上衣服三着、セーター一枚(自用)品ノット廿五冊、鉛筆一ダース △大沢中学校四年三組三本照子(現金四千四百円) 梅沢啓子各々より △大沢中学校(生徒代表金子悦一、学用品)ノット鉛筆一包

立毛共進会を十一月二十六日挙行しました。参加十六人で次の入賞者を得ました。 敬称略(増林公民館) 一等 会田 七蔵 二等 中村 万蔵 三等 新戸佐太郎 会田 義治 井上 理助

みんなが楽しいお正月を

歳末愛の運動

越谷町では昨年に引き続き、本年も全国的なこの歳末愛の運動に呼応し十五日から行なうことになりました。何卒町民皆さんの温かい愛の運動に御協力下さいませようおねがひいたします。(厚生課) 昭和三十一年度歳末愛の運動実施計画 一、不用衣料品及び日用品、雑貨等の提出 二、一握提出運動 三、例年通り役場より金一封贈助の手をさし、すべての町民があなたにかけるお正月の喜ぶを送り、近づく役員が各御家庭を訪問し、これら物資の蒐集にあたります。

困る人にと千圓寄附

いよいよ昭和卅一年度の年の瀬もおし寄せまつて何となくあわただしいこの頃、一消防団員のかくれえ美しい行為があります。それは去る四日開かれした年一度の消防団員の日。出来事でありました。例年ならば、各分団二次会を開くのが通例であつたのですが、越谷町はここに機械化消防に新編成されたので、これを機に吾々消防団員も自衛することが大切と役員、団員が話し合ひいきつて二次会を廃止することに決めたので、お金の金千円を困つた人へ差し上げて下さい。町長宛に次の文を添えて匿名で客附されたこと、町長もこの行為にたいく感激、早速町社会福祉協議会の予算に繰入れ、御意志にそつよう、有効に使用させていただきますことになりました。

前略 本年度の消防点検も無事に済みました。が、例年ならば当日夜、役員で二次会を行なうのですが、可搬式となり新編成となりましたのでこの際他の役員及団員と話し合ひい切つて二次会はしない事に決めました。その為か家庭の評判よくこの分なら一層部落消防員、各家庭の円満に役立つ事と思ひ喜んでおります。同封の金は僅少ですが、当日の節約した自分の小使ですが、どうぞクリスマスにでも町内の困つている方に差し上げて下さいませ。御多忙中恐縮ですが御手配下さい、尚名は書きませんが、若し明らかになつても発表しないよう切に御願ひ申し上げます。末筆ながら町長様の一層の御健勝を祈り上げます。(一消防団員)

綴じて御保存下さい。

